

授業科目	臨床評価学実習Ⅱ				
担当者	OT専任教員(実務経験者)			(オムニバス)	
実務経験者の概要	担当教員、実習指導者全てが実務経験者で、医療福祉機関で勤務し、作業療法の経験を有する者				
学科名	作業療法学専攻	学 年	3年	総単位数	3単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

1. 実習前学習，臨床実習，終了後のまとめと報告会で構成する
2. 実習施設：一般病院，リハビリテーション病院など大学が依頼し決定した施設
3. 臨床現場での実習期間：3週間（2月）
4. 実習形態：同一施設で臨床実習指導者の指導体制のもと対象者の作業療法評価を行う

## ■ 到達目標

1. 作業療法評価の位置づけと過程がわかる
2. 対象者の作業療法評価（情報収集，検査測定，統合と解釈，作業療法プログラムの立案）が出来る
3. 上記を適切に記録できる

## ■ 授業計画

第1回～第30回 全体オリエンテーション  
 実習前準備（講義・演習・レポート）  
 臨床見学実習（3週間）  
 実習のまとめ  
 実習報告会

## ■ 評価方法

実習前後の課題が25%、実習地での成績が50%、実習終了後の報告・報告書の内容25%

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

各回に担当教員および臨床実習指導者の指示に従って，予習復習を行うこと

## ■ 教科書

## ■ 参考図書

## ■ 留意事項

## ■ 講義受講にあたって

1. 実習は対象者や関係者，実習施設の好意により行われるため感謝と礼儀を忘れないこと
2. 日頃から健康管理に努め，特に臨床実習期間は健康に留意すること
3. 全体を通して，身だしなみや取り組み態度が不適切であると判断した場合，また，無断欠席や正当な理由がない欠席は原則として実習を中止する